

—医師の多彩なライフスタイルを応援します—

# 医師信組の現況

平成22年度上半期 経営情報

(平成22年9月末現在)

*Mini  
Disclosure*

石川県医師信用組合

## 現 況 の ご 報 告

### はじめに

組合員のみなさまには、平素より当組合の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成22年度上半期(平成22年4月1日～平成22年9月30日)における当組合の経営情報をとりまとめました。お取引のご参考にしていただければ幸いです。

今後もみなさま方のお役に立つ組合として、これまで以上に経営の健全性と基盤強化に努めてまいりますので、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 主要勘定について

(平成22年9月30日現在)

(単位：千円)

勘定科目	平成21年9月末	平成22年9月末	増 減
預 金 ・ 積 金	17,871,785	20,330,052	2,458,267
貸 出 金	3,354,197	3,710,948	356,751
預 け 金	5,376,016	6,255,239	879,223
有 価 証 券	10,922,463	12,436,630	1,514,167
経 常 収 益 (A)	151,219	159,078	7,859
経 常 費 用 (B)	101,364	113,158	11,794
経 常 利 益 (A-B)	49,854	45,920	△3,934
業 務 純 益	49,854	45,920	△3,934
中 間 純 利 益	45,560	32,348	△13,212
組 合 員 勘 定 ( うち 出 資 金 )	1,822,351 112,495	1,884,821 114,364	62,470 1,869
組 合 員 数	1,401人	1,427人	26人

\*記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

### 2. 自己資本額及び自己資本比率について

(単位：千円・%)

	平成21年9月末	平成22年9月末	増 減
自 己 資 本 額	1,828,432	1,891,103	62,671
自 己 資 本 比 率	26.79	26.56	△0.23

自己資本比率は、金融機関の健全性や安全性を示す重要な指標として用いられております。

19年3月期より、新しい自己資本比率規制(バーゼルII)が実施され、オペレーショナル・リスク(事務リスク等)相当額が加算されるなど、算出方法が厳しくなりました。

当組合の平成22年9月期(仮決算)におきましては、自己資本額は1,891百万円、自己資本比率26.56%となりました。

自己資本比率は、国際基準の8%、国内基準の4%を遥かに上回っており、当組合の財務基盤は盤石であります。

景気は低迷状況にあり、当組合を取巻く環境も厳しさを残しておりますが、今後とも皆様方に更なる金融サービスを提供できますよう、経営の健全性確保と基盤強化に役職員一同、努力を重ねてまいります所存です。

組合員の皆様には、一層のご支援助とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 3. 銀行勘定における金利リスクについて

金利リスクはとってはならないリスクではなく、収益を上げるために一定のリスクを引き受け、コントロールしていくものと認識しています。その一方で、リスクは経営体力(自己資本)の範囲内に抑制すべきものでもあります。

当組合では、リスクが過大になっていないか、自己資本に見合っているか等定期的な評価・計測を行い、適宜、対策を講じる態勢としております。

具体的には、過去5年間の金利変動データに基づき統計処理(1%・99%タイル値)によって計測される金利ショックに対する経済価値の増減額を経営陣へ報告を行うなど、資産、負債の最適化に向けたリスク・コントロールに努めております。

銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)について、金利変動により発生するリスク量を見るものです。金利リスク量は想定する金利変動幅によって結果は異なります。

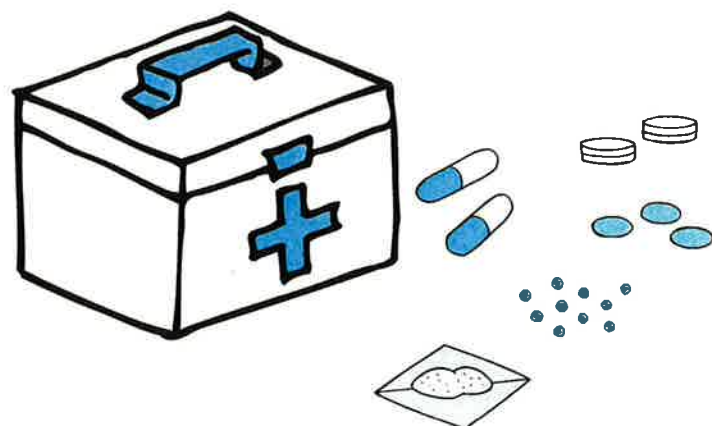
なお、お客様のご要望により随時払いだすことのできる要求払預金(普通預金等)には明確な金利改定間隔がありません。当組合では、要求払預金のうち引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、要求払預金の50%相当額を0～5年の期間に均等に振り分けて(平均2.5年)リスク量を算定しています。

平成22年9月期

	金利リスク
金利ショックに対する損益・経済的価値の増減額	335百万円

平成22年3月期

	金利リスク
金利ショックに対する損益・経済的価値の増減額	295百万円



#### 4. 中間貸借対照表及び損益計算書

(単位：千円)

##### ◎貸借対照表

資産の部

科目	平成21年9月末	平成22年9月末
現金	27,304	32,333
預け金	5,376,016	6,255,239
有価証券	10,922,463	12,436,630
国債	968,817	1,175,819
地方債	3,678,616	4,520,708
短期社債	-	-
社債	5,317,684	6,238,926
株式	20,458	18,434
その他の証券	936,886	482,741
貸出金	3,354,197	3,710,948
手形貸付	38,320	93,600
証書貸付	3,315,877	3,617,348
その他資産	102,395	106,578
全信組連出資金	37,500	37,500
未収収益	53,446	60,041
仮払金	1,244	241
その他の資産	10,203	8,795
有形固定資産	14,665	13,585
建物	-	758
リース資産(有形)	6,814	5,428
その他の有形固定資産	7,851	7,398
無形固定資産	301	115
ソフトウェア	291	105
その他の無形固定資産	10	10
繰延税金資産	8,458	-
債務保証見返	93,536	110,711
福祉医療機構	93,536	110,711
貸倒引当金	△6,080	△6,282
(うち個別貸倒引当金)	-	-
資産の部合計	19,893,258	22,659,860

\*記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

負債及び純資産の部

科目	平成21年9月末	平成22年9月末
預金・積金	17,871,785	20,330,052
普通預金	7,310,457	7,237,531
別段預金	4,172	3,670
納税準備預金	6,956	5,310
定期預金	9,567,365	12,078,854
定期積金	982,833	1,004,685
その他負債	61,794	86,929
未払費用	32,986	48,765
給付補てん備金	4,035	4,421
未払法人税等	3,599	13,268
前受収益	4,365	4,780
未払諸税	1,238	1,511
未払配当金	33	19
払戻未済持分	770	410
職員預り金	7,940	8,210
リース債務	6,824	5,541
賞与引当金	3,239	3,157
退職給付引当金	21,162	22,684
役員退職慰労引当金	9,200	8,443
繰延税金負債	-	59,671
債務保証	93,536	110,711
福祉医療機構	93,536	110,711
負債の部合計	18,060,718	20,621,650
(純資産の部)		
出資金	112,495	114,364
普通出資金	112,495	114,364
資本剰余金	-	-
利益剰余金	1,709,856	1,770,457
利益準備金	83,711	93,711
その他利益剰余金	1,626,145	1,676,746
特別積立金	1,580,000	1,630,000
中間未処分剰余金	46,145	46,746
中間純利益	45,560	32,348
組合員勘定合計	1,822,351	1,884,821
その他有価証券評価差額金	10,188	153,388
純資産の部合計	1,832,540	2,038,209
負債及び純資産の部合計	19,893,258	22,659,860

##### ◎損益計算書

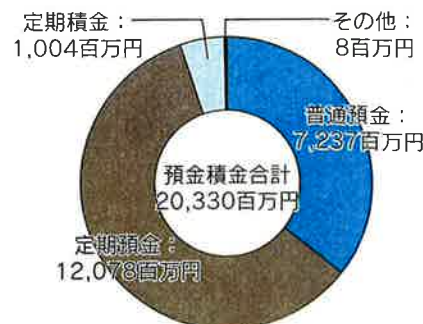
科目	平成21年9月末	平成22年9月末
経常収益	151,219	159,078
資金運用収益	132,055	138,614
貸出金利息	34,434	34,097
預け金利息	13,422	13,494
有価証券利息配当金	82,699	89,522
その他の受入利息	1,500	1,500
役務取引等収益	1,062	1,181
受入為替手数料	716	725
その他の役務収益	345	455
その他業務収益	18,101	19,283
国債等債券売却益	17,725	16,039
国債等債券償還益	367	3,183
その他の業務収益	7	60
経常費用	101,364	113,158
資金調達費用	25,096	34,244
預金利息	22,743	30,531
給付補てん備金繰入額	2,210	3,474
その他の支払利息	142	238
役務取引等費用	977	935
支払為替手数料	534	540
その他の役務費用	443	395
その他業務費用	-	-
国債等債券売却損	-	-
経費	75,154	76,959
人件費	36,654	38,092
物件費	38,313	38,697
税金	186	168
その他経常費用	136	1,018
貸倒引当金繰入額	136	1,018
株式等償却	-	-
経常利益	49,854	45,920
特別利益	-	-
その他の特別利益	-	-
特別損失	-	39
固定資産処分損	-	39
税引前中間利益	49,854	45,881
法人税・住民税及び事業税	4,873	13,592
法人税等調整額	△579	△59
中間純利益	45,560	32,348
前期繰越金	584	14,397
中間未処分剰余金	46,145	46,746

\*記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

#### 5. 預金種目別残高

(単位：千円・%)

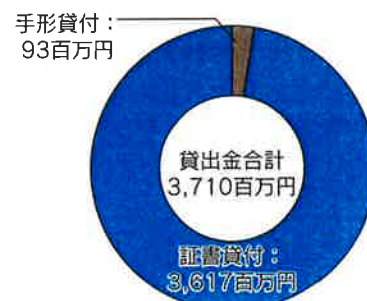
科目	平成21年9月末		平成22年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
流動性預金	7,321,586	40.97	7,246,512	35.64
定期性預金	10,550,199	59.03	13,083,539	64.36
合計	17,871,785	100.00	20,330,052	100.00



## 6. 貸出金の種類別残高

(単位：千円・%)

科 目	平成21年9月末		平成22年9月末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
手形貸付	38,320	1.14	93,600	2.52
証書貸付	3,315,877	98.86	3,617,348	97.48
合 計	3,354,197	100.00	3,710,948	100.00



## 7. 有価証券の種類別残高

(単位：千円・%)

区 分	平成21年9月末		平成22年9月末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
国債	968,817	8.87	1,175,819	9.45
地方債	3,678,616	33.68	4,520,708	36.35
短期社債	—	—	—	—
社債	5,317,684	48.68	6,238,926	50.17
株式	20,458	0.19	18,434	0.15
その他の証券	936,886	8.58	482,741	3.88
合 計	10,922,463	100.00	12,436,630	100.00



## 8. 有価証券の時価情報

○満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時 価	評価差額	内評価益	内評価損
国債	969,179	991,296	22,117	22,117	—
地方債	2,740,490	2,794,535	54,045	54,045	—
社債	2,361,452	2,414,679	53,226	54,206	980
その他	482,741	415,215	△67,526	—	67,526
合 計	6,553,863	6,615,725	61,863	130,368	68,506

\*記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

○その他有価証券で時価のあるもの

(単位：千円)

	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	内評価益	内評価損
債券	5,645,556	5,864,332	218,775	221,246	2,471
国債	200,019	206,640	6,621	6,621	—
地方債	1,699,044	1,780,218	81,173	81,173	—
社債	3,746,492	3,877,474	130,981	133,452	2,471
株式	12,614	16,334	3,720	4,380	660
合 計	5,658,171	5,880,666	222,495	225,626	3,131

\*記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

なお、上記の評価差額に繰延税金負債69,107千円を差引した額153,388千円が「その他有価証券評価差額金」に含まれております。

時価のない有価証券のうち、主なものの内容と貸借対照表計上額は、次のとおりです。

その他有価証券

非上場株式 2,100千円

## 9. 金融再生法開示債権の状況

不良債権に関わるディスクロージャーとして、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」に基づき査定(平成22年3月末)した開示債権があります。同年9月末現在の残高は次のとおりとなっております。

(単位：千円・%)

区 分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)= (B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金 引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成22年3月末	—	—	—	—	—	—
	平成22年9月末	—	—	—	—	—	—
危 険 債 権	平成22年3月末	—	—	—	—	—	—
	平成22年9月末	—	—	—	—	—	—
要 管 理 債 権	平成22年3月末	—	—	—	—	—	—
	平成22年9月末	—	—	—	—	—	—
不 良 債 権 計	平成22年3月末	—	—	—	—	—	—
	平成22年9月末	—	—	—	—	—	—
正 常 債 権	平成22年3月末	3,631,538					
	平成22年9月末	3,821,706					
合 計	平成22年3月末	3,631,538					
	平成22年9月末	3,821,706					

\*記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

## 10. 顧客保護等管理方針

### 1. お客様保護のための基本方針

当組合は、法令、諸規則、諸規程(以下「法令等」といいます。)を遵守して誠実かつ公正に事業を遂行し、当組合の商品・サービス(以下「商品等」といいます。)の正当な利益の確保及びその利便性の向上を図り、もってお客様からの信頼を確保するために継続的に取組みます。

### 2. お客様への説明について

当組合は、法令等を遵守して、お客様への説明を要するすべての商品等について、お客様の取引目的、ご理解、ご経験、ご資産の状況等に応じた適切かつ十分な商品説明と情報提供を行います。

### 3. お客様からのご相談・苦情等の対処について

当組合は、お客様からのご相談・苦情等について、迅速かつ誠実に対応し、お客様の正当な利益を公正に確保して、もって当組合の事業についてお客様のご理解が得られるように務めます。

### 4. お客様の情報管理について

(1) 当組合は、お客様の情報について、これを適法かつ適切な手段で取得し、正当な理由なく、当組合がお客様にお示した利用目的の範囲を超えた取扱いや外部への提供を行いません。

(2) 当組合は、お客様の情報の正確性の維持に努めるとともに、お客様の情報への不正なアクセスや情報の流出等の防止のため、適切かつ十分な安全保護措置を講じます。

### 5. 当組合の業務を外部委託する場合におけるお客様情報の取扱いやお客様への対応について

当組合がその業務を第三者に外部委託する場合においても、お客様の情報及びお客様への対応が適切に行われるように外部委託先を管理します。

## 11. 地域貢献の基本理念について

### 1. 当組合の組織と基本理念

当組合は、石川県医師会の会員並びにその家族、及び医師会関係団体を組合員とする業域信用組合であり、組合員がお互いに助け合い発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組織金融機関です。

私どもは、金融業務を通じて組合員の医業経営に関する事業の発展に寄与すると共に、地域住民の医療及び健康管理に貢献することを理念としております。

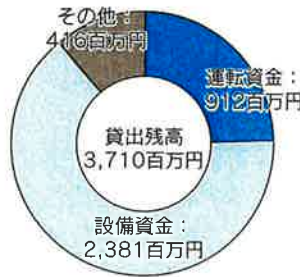
### 2. 融資を通じた地域貢献 (平成22年9月30日現在)

- \* 貸出先数 215先(取扱件数407件)  
貸出残高 3,710,948千円

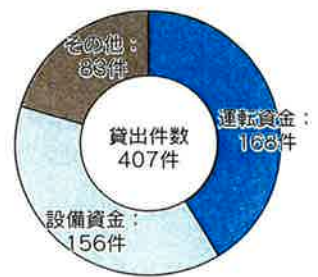
< 使途別貸出残高 >

運転資金	912,625千円
設備資金	2,381,460千円
その他	416,862千円
計	3,710,948千円

使途別貸出残高の状況



使途別件数の状況



- \* 代理貸付業務

福祉医療機構 24先 貸出残高 553,555千円

- \* 災害復興支援融資

取扱件数 10件 取扱金額 83,500千円  
(現在件数・残高 5件 30,464千円)

- \* 産科医療機関支援融資

取扱件数 4件 取扱金額 40,000千円  
(現在件数・残高 4件 29,804千円)

### 3. 地域へのサービスの充実度

#### (1) 店舗の設置数

本店、1店舗の営業です。

#### (2) 情報提供活動

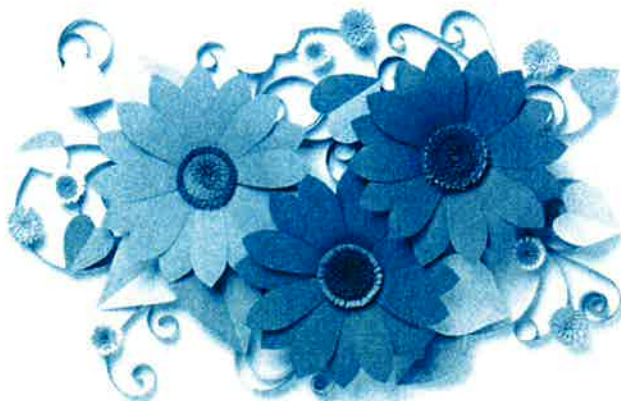
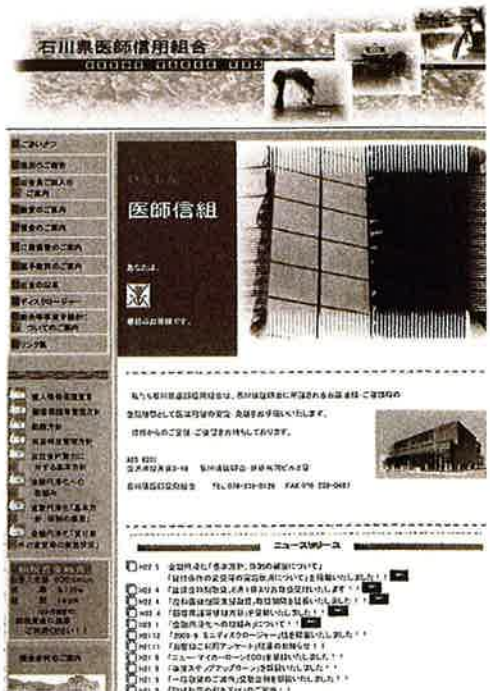
ディスクロージャー誌(ミニディスクロージャー誌含む)を全組合員にお届けしております。

石川県医師会報に情報を掲載しております。

#### (3) 石川県医師信用組合ホームページのご案内

<http://www.ishikawa.med.or.jp/sinkumi/>

石川県医師信用組合のホームページでは、商品やサービス、財務情報等、様々な情報をご覧いただけます。



## 12. 反社会的勢力に対する基本方針

当組合は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため、以下のとおり基本方針を定め、これを遵守します。

### 1. 組織としての対応

当組合は、反社会的勢力による不当要求に対し、対応する職員の安全を確保しつつ組織全体として対応し、迅速な問題解決に努めます。

### 2. 外部専門機関との連携

当組合は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力追放運動推進センター、弁護士などの外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。

### 3. 取引の未然防止を含めた関係の遮断

当組合は、信用組合の社会的責任を強く認識し、その責任を組織全体で果たすため、反社会的勢力との取引の未然防止を含めた一切の関係を遮断し、反社会的勢力からの不当な要求には応じません。

### 4. 有事における民事と刑事の法的対応

当組合は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。

### 5. 資金提供、不適切・異例な取引及び便宜供与の禁止

当組合は、いかなる理由があっても、反社会的勢力に対して事案を隠ぺいするための資金提供、不適切・異例な取引及び便宜供与は行いません。

\*上記の5項目は、犯罪対策閣僚会議(政府)の下に設置されている暴力団資金源等総合対策に関するワーキングチームが取りまとめた指針「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」に示された反社会的勢力による被害を防止するための基本原則です。

## 13. 当組合の苦情処理措置・紛争解決措置等の概要について

当組合では、お客様により一層のご満足を頂けるよう、お取引に係るご苦情等を受付けておりますので、お気軽にお申出ください。

\*苦情等とは、当組合との取引に関する照会・相談・要望・苦情・紛争のいずれかに該当するもの及びこれらに準ずるものをいいます。

### 当組合へのお申出先

苦情等受付窓口をお願いいたします。

<窓口>

住 所：石川県金沢市鞍月東2丁目48番地

電話番号：076-239-0126

受付時間：午前9時から午後5時

(土日・祝日および金融機関の休日を除く)





6. 顧客サポート等に係る情報の集約、苦情等に対する対応の進捗状況および処理指示については、顧客サポート等管理責任者が一元的に管理します。  
 注：顧客サポート等管理規程 第4条-(2)
7. 反社会的勢力による苦情等を装った圧力に対しては、規程等に基づき、必要に応じ警察等関係機関との連携をとった上、断固たる対応をとります。  
 注：顧客サポート等管理規程 第6条
8. 苦情等に対応するため、研修等により関連規程等に基づき業務が運営されるよう、組合内に周知・徹底を図ります。  
 注：顧客サポート等対応マニュアル 4.-(3)-⑤
9. 苦情等の内容について分析し、調査を行った苦情等の発生原因を把握した上、苦情等の再発防止、未然防止に向けた取組みを不断に行います。  
 注：顧客サポート等管理規程 第10条

以上

\*\*\*\*\*

### 当組合の苦情受付・対応態勢

